

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ナーシングプラス有松校		
○保護者評価実施期間	2025年 9月 20日	～	2025年 9月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	13名	(回答者数) 11名
○従業員評価実施期間	2025年 9月 26日	～	2025年 10月 4日
○従業員評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 10月 31日		

○分析結果

事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1 構造化された安心できる環境と、障害特性に配慮したバリアフリー等の設備体制が充実している点。	環境の「構造化」を基本とし、安全管理や感染症対策に特に配慮した日々の清掃・消毒を徹底している。	個別支援計画に基づく支援の「実施記録」の質を高め、日々の支援のフィードバックを保護者とより詳細に共有する仕組みを構築する。
2 支援計画の作成時や変更時において、計画書を必ず提示し、支援内容の説明を丁寧に行うことを職員間で意識づけている。	支援計画の作成時や変更時において、計画書を必ず提示し、支援内容の説明を丁寧に行うことを職員間で意識づけている。	高い支援満足度を維持するため、職員の共感的傾聴スキルを向上させるための継続的な研修(ロープレ等)を実施する。
3 事故や災害等の緊急時を想定したマニュアルを整備し、職員間での情報共有と適切な連絡体制のシミュレーションを定期的に実施している。	事故や災害等の緊急時を想定したマニュアルを整備し、職員間での情報共有と適切な連絡体制のシミュレーションを定期的に実施している。	地域の関係機関(児童発達支援センター等)との連携強化を図り、専門的な視点で事業所の支援に還元するサイクルを構築する。

事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	外部評価というものが何なのか職員に浸透していない	目的やメリットを職員全体で共有し、業務の見直しや質の向上につながる機会として意識づける
2 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援がなされているか	保護者同士の横のつながりを作る活動ができなかった	保護者の意向を把握するために、個別面談で交流へのニーズを確認するきょうだい児と一緒に楽しめる活動を取り入れ、家族全体で関わりやすい雰囲気を作る

公表 事業所における自己評価総括表

○事業所名	ナーシングプラス有松校		
○保護者評価実施期間	2025年 9月 20日	～	2025年 9月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	26名	(回答者数) 16名
○従業員評価実施期間	2025年 9月 26日	～	2025年 10月 4日
○従業員評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 10月 31日		

○分析結果

事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1 保護者・関係機関(保育園、小学校)との定期的な情報共有	ご家庭や学校など事業所以外のお子様の様子も把握すること、該当の子に関わる全ての大人が同じ方向性で支援を行えるように積極的に話し合いの場を設けている。	華やかな話し合いにならないように、三か月ごと又は半年ごとに連携を行い、継続的に行えるようにしていく。
2 療育の時間内に個別の時間を設け、より該当の子に寄り添った支援を行っている	感覚統合や作業を行ったあと、ひとりひとりに合わせて必要と考えられるトレーニングを行い、個別での時間を充実させている	プラスアルファで行っているトレーニングをさらに仕組化し、子どもたちも選択をしながら楽しんでもらえるようにする
3 職員間で児童の共有がしっかりとできている	低年齢の利用の子も多いので、職員間での伝達・情報共有はこまめに行うことができおり、利用のお子様安心して過ごせるような体制づくりを行っている	伝達・情報共有をその場で行い対応することが多いので、ツールを使用し誰もが視覚的に把握できやすいような方法を取り入れていく

事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげること	外部評価の機会を作っていないこと	同事業所の多店舗や利用児童の相談支援員などの訪問の際に第三者目録でのアドバイスをいただき、職員間で周知する
2 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のことと活動する機会が少ない	発達段階や利用児童の状況により、外出の機会が限られている	同拠点他事業所のナーシングプラス有松校とも連携し、地域交流できる機会を活動に取り入れていく